

学生相談室だより vol.13



2017/1



私の居場所は、・・・どこ？

◆ここは私の居るところ？・・・不本意入学の悩み

たとえば、

「両親が敷いたレールに乗って親和へ。親への反発から、大学までイヤになった」

「センター試験に失敗して第一志望を断念。そのことが、いつまでも尾を引いている」

「女子校は初めてで雰囲気合わず、友だちをつくる気になれない」

「・・・・・・・・」etc.

こんな悩みで学生相談室を訪れる人は少なくありません。夏休みを過ぎたあたりで元気になる人が多いけど、何年も持ち越してしまう人も。中身は一人一人違うけど、「ここは私の居場所ではない」という重い心を抱えて日々を送るつらさは同じ・・・体の不調として現れたりもします。

◆あなたの気持ち、学生相談室で話してみませんか

ひとりで悩まずカウンセラーに気持ちを話してみませんか。心のモヤモヤが少しでも軽くなったら、どうしたらいいかなあ・・・と、一緒に考えてみましょう。

話し相手があると、そこが「居場所」になる。

何かひとつ行動すると、「私」が少し元気になる。

学生相談室は、あなたの居場所。気軽にドアをたたいてくださいね。

カウンセラーがつぶやく、『居場所』にまつわるちょっとした思い・・・

H/

家庭と学業の両立生活に疲れきっていた頃、近所のママ友らが「いつでもここ(私たち)があなたの居場所」と声をかけてくれました。たわいもない話をしながら、心がほんのり温かく、元気になってくるのを感じました。そんな「居場所」になれたらなあと思っています。お待ちしています。

T/

数年前に偶然知り合い、仲良くなった友人。住んでいる所も遠く離れており、職種も年齢も違うけれど、彼女と趣味やたわいないメールをしている時に心がほっと落ち着き、温かくなります。出会った場所で、毎年再会する約束を楽しみに、日々を乗り切っています。そんなほっとできる「居場所」を大切にしたいと思います。

M/

学生時代は、学業・友人・将来について『自分は何がしたいんだろう?』と自問し、悩むことも多かったけれど、『ダメだったら1からやり直せばいいや』と楽観視できたおかげで、何とか救われてきたように思います。

I/

阪神淡路大震災で被災、2か月ほど大阪の親戚に居候させてもらい、毎日東灘へ片付けに通いました。家族の通院や電車の時刻などをぎっしりかいたスケジュール帳を1冊いつも持ち歩き、それを開くときに私の『居場所』だったなあと思ひ出します。

※学生相談室には春休み中もカウンセラーがいます。気になることがあれば、何でも話してみませんか？



*以下の期間は普段と異なる開室時間となりますのでご注意ください。

2月8日(水)～3月31日(金) 10時～14時

予約は保健室へ 078-591-3790